

### 【特集】スタートアップの今「STATION Ai」の期待値と課題 ~東京視察レポート~

古巣会社の友人の伝手を頼り、世界スタートアップランキング上位の東京のインキュベーション(起業家支援施設)を巡り未熟な認識をアップデート。

axleお茶の水では、友人の人選でスタートアップの社長やVC(投資家)、アクセラレーター数名とざっくばらんに意見交換。立場は違えど目線と目指すべき未来の視点が同じ、社会課題は気づかないだけで世に溢れていて、その解決を新産業という具体的な形で提供するまでの楽しさと苦しさを教えていただきました。

日本最大のインキュベーション「CIC Tokyo」では、SyncMOFの岡岡社長と面会。意見交換のテーマは、スタートアップの展望と愛知発のスタートアップの期待と課題について。

現在ディープテック系スタートアップの先頭集団を走り、「ロールモデル(成功事例)となりたい」と仰る姿の裏に一足飛びではない地道なトライ&エラーの積み重ねがあることを感じました。



成功のポイントはビジネスセンスの磨き上げと冷静な現状分析・評価、スタートアップへの安易な投資の危険性。

続いて「渋谷QWS」を訪問、とにかく溢れるその熱量と勢いに圧倒。その後、「ピッチイベント」を手掛けるTAKEOFF tokyoのフィンランド出身アンティ代表の案内で、意見交換をしながら渋谷のインキュベーション施設巡り。

愛知発のスタートアップ成功の鍵は？との問いに対しては、みなさん口を揃えて「ものづくりとの連携と融合」で一致、特にディープテック系スタートアップを牽引し、ロールモデルを多数輩出してほしいと期待していました。

10月開業予定の「STATION Ai」、期待値の高まりに応えられるのか、環境整備の観点からしっかり注視していきます！！

- ▶ **CIC Tokyo**: 日本最大のインキュベーション。ある程度自走できる成熟したスタートアップが入居するワンランク上のスタートアップ支援施設。
- ▶ **ディープテック**: 私たちの生活や社会を大きく変革するようなインパクトを与える科学的な発見や革新的な技術のこと。
- ▶ **渋谷QWS**: 起業前後の初期段階のスタートアップが集まるインキュベーション。敷居が低く、コミュニケーターと言われるスタッフが会員同士のつながりや相談に乗るしくみが充実。
- ▶ **ピッチイベント**: スタートアップや起業家が集まって自身の新規事業のアイデアについてプレゼンテーションを行う場。オープンインキュベーションを生むために人の繋がりを増やしたり、認知度を向上させて投資に繋げるマッチングの役割も担う。

料金後納  
ゆうメール

差出人/返還先(差出發送代行) 6-18  
佐川グローバルロジスティクス(株)  
〒485-0075  
小牧市三ッ淵惣作1350  
佐川急便(株)中京支社社内メールセンター  
このお荷物はご依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行しています。

あま市/蟹江町/大治町/飛鳥村  
みなさんと『ともに進む。』  
愛知県議会議員  
**おぎそ 史人**  
発行 おぎそ史人議員事務所  
愛知県あま市木田八反田21 コーポエムワン 1-C  
Tel/Fax 052-718-7050 E-mail ogiso.f@yahoo.co.jp  
HP: <http://ogiso-web.com/>

## 2024年 春号 Vol.20

- 1面/「STATION Ai」10月オープン予定 「魔女の谷」完成
  - 2面/「防災」について議案質疑 3面/令和6年度当初予算の概要
  - 4面/スタートアップの今を調査 自殺対策について考える
- ←愛知県子育て応援マスコットキャラクター。19(育児のい)日は子育て応援の日(はぐみんデー)

新年度の始まりは、入学や就職など人生における節目の新たなスタート地点でもあります。新たな門出となる皆様に対し、これからのご活躍、楽しく素敵な人生の幕開けとなることを心からお祈り申し上げます。



愛知県議会では、令和6年度一年間の基本施策の方針を決める2月定例議会が2/19~3/25の日程で開催、一般会計2兆7,949億余円を含む4兆3,427億余円の当初予算案など全92議案を審議、全ての議案を可決成立させました。(予算概要はP3をご覧ください。)

中心となった議論は、やはり能登半島地震を受けた災害対策。愛知県からも多くの人的物的支援が継続的に投入されています。現地活動を通じて得た課題をフィードバックし、事前防災から発災後の早期復旧復興まで、ハード・ソフト両面でのあらゆる防災施策に迅速かつ的確に反映させなければなりません。

コロナ禍から脱却した今、人口減少社会を含む未来に大きく立ち足る課題に率直に向き合い、住み続けたい、住んでいてよかったと誰もが思える、人を大切に育てられる愛知県を軸にこれからも活動していきます！

### ● 10月「STATION Ai」いよいよオープン！

スタートアップの創出・育成・展開・誘致を図るエコシステム(自然に集まり循環する環境)をつくるための支援拠点「STATION Ai」が10月に名古屋市昭和区鶴舞にオープン予定。ものづくり愛知と新産業のコラボに期待大です。

<キーワード> スタートアップはベンチャーと違う？ スタートアップは「起業」を意味し、既存のビジネスモデルをベースにするベンチャーと違い、革新的なアイデアで新たなビジネスモデル・サービスを作り出す企業のこと。

### ● ジブリパーク「魔女の谷」エリアが完成！

昨年11/1の「もののけの里」エリアに続いて、3/16に「魔女の谷」がオープン、ディテールにこだわる内装・装飾品は圧巻！お土産もグレードアップ。チケットは入場2か月前の毎月10日発売です。これで5エリアフルオープン！ぜひ「ゆっくりきてください」



【施設概要】  
地上7階建て  
延床面積 23,600㎡  
利用者数 1,000社  
※日本最大！  
【施設機能】  
オフィス、テックラボ  
イベントスペース  
あいち創業館  
宿泊施設・託児施設  
カフェ・レストラン等

### 自殺対策 ~社会全体で「命」を守る~ 自殺対策オンライン研修会

自殺対策支援センターライフリンクさんによる研修。昨年の自殺者数は暫定値で21,818人と高止まり。特に若年、女性が増加しています。

自殺は多くが複合的な要因が重なり「追い込まれた末の死」であることから、わかりやすくその課題を教えていただきました。

いのちを守るのは行政の一丁目一番地の責務。人口減少社会を迎え、子どもを産み育てる、いわば人口増の環境整備がクローズアップされる中、亡くなるいのちを守ることはそれ以上に大事だと。

自殺は個の問題とタブー視するのはナンセンス。大きな社会問題として、真正面から向き合わなくてはなりません。

4、5月は、気候とは裏腹に「こころ」が不安定になりがち。ひとりで抱え込まないで...まずはご相談ください。

● あいちこころのサポート LINE相談  
こちらのQRコードを読み込んでください

● あいちこころ ホットライン365  
毎日9時~20時半  
052(951)2881

### 国際交流 ~日越友好愛知県議会議員連盟~ バトナム人学生が我が家でホームステイ

名古屋大学日本法教育研究センターからのご依頼で、4年前に続いての受入れ、今回はハノイ市法科大学3年生のヴィさん。将来の夢は法学教員、日本語も上手で明るい元気な女性です。

2泊3日、たこ焼きパーティーのほか、七宝焼体験や甚目寺観音、名古屋港水族館、ジブリパークの内覧会へ。バトナムでもジブリは大人気らしく、一番有名な作品は「火垂るの墓」とのこと。

少子高齢化が進んでおり、出会いはマッチングアプリを利用することが増えているとの話には驚きました。



● 地域活動やイベントは考える「種」の宝庫。  
みなさんとともに参加して、いろいろなお話を伺う中で新たな気づきや課題を見つけ出すことができます。  
お見かけの際は気軽にお声かけくださいね。



### 2月定例議会(2024/3/6) 本会議「防災」について議案質疑を行いました！



#### テーマ① 防災意識の向上のために

##### 問題意識

昨年末の県民防災意識調査の結果は、大規模災害への関心は高いが、家具固定や災害備蓄品等「備え」の具体的な行動は前回調査と比べてほぼ横ばい。

危機感は持ちながら、自助共助を促す行動変容につながっていない現状が見て取れる。

地震の恐怖を肌で感じてもらうため、県は地震体験車(通称:なまず号)を3台所有、市町村や消防本部経由で貸し出している。体験者年間50,000人という数値目標を設定しているが、近年は30,000人程度と減少傾向にある。

地域の防災訓練などで呼びたいという声に応えられるような運用をしているのか。



地震体験車 通称なまず号

Q 今後どのように地震防災への意識を高めていくのか。また、地震体験車の利活用に対する考えは。

県当局 能登半島地震を受け、県民の地震に対する関心は高まっている。新たに若い世代へのアプローチを行い、防災に関心を寄せない方々に地震への備えに取り組んでもらえるよう一層取り組みを進める。

地震体験車については、利活用を積極的に促すとともに、貸し出し対象に新たに県の防災協定締結事業者も加え、社内行事でも利活用していただく。

要望 地震体験車3台の稼働率の平準化や貸し出し予約方法の見直し等運用の改善を検討するとともに、オフシーズンや空いている日程で地域の自主防災訓練に活用したいという要望に応えられるよう、市町村に対して積極的に働きかけてほしい。

#### ここに注目！ 能登半島地震で課題が浮き彫り 水道施設の地震対策

能登半島地震では、液状化等の影響による浄水場や管路の損傷がひどく、生活の困難さを際立たせています。海部津島地域は、大治町とあま市の一部地域を除いて愛知県の水道を受水しており、尾張西部浄水場(稲沢市)はほぼ耐震化完了、非常電源も整備済みです。

県管理の基幹管路(受水団体の配水池まで)の耐震適合率は約9割、管路が被災した場合のバックアップとして複線化も進めています。日光川下流域3本の水管橋が耐震化未実施ですが、すでに迂回管路が整備済み。

「命の水」を守るための地震対策は最優先課題です！

#### テーマ② 海部地域における広域避難体制について

##### 問題意識

県は、ゼロメートル地帯の広域的な防災活動拠点を整備中で、海部地域では愛西市(昨年3月完成)と弥富市で整備が進められている。

この拠点は要救助者を速やかに安全な場所へ移送することが目的であり、令和2年12月議会で大村知事が海部地域をモデルとした市町村域を超えた広域避難体制の検討を進めると表明。

ただ、今回の予算説明の中でも「引き続き検討を進める」となっており、その具体的な検討状況、運用方法が明らかになっていない。



広域的な防災活動拠点 活用イメージ

Q 海部地域において整備を進めている拠点を活用した広域避難の検討状況と今後の取り組みは。

県当局 海部地域の広域避難には、18か所の中継拠点候補地を選定、中継拠点からの広域避難先については、西尾張地域の14市町村で締結された相互応援協定の枠組みを活用して、具体的な避難元市町村と避難先市町村のマッチングの調整を行っている。

今後は広域避難先までのルートや移動手段などの検討を進めていきたい。

要望 拠点のことを市町村が指定する避難所と誤解している声も耳にする。海部地域に住む方にも拠点の運用を具体的に知ってもらうことが、いざという時の迅速かつ的確な救出救助活動にも繋がるため、公表できる部分は適宜公表してほしい。

#### 県政情報 2024年4月から導入開始 愛知県ファミリーシップ制度

未婚のカップルや性的マイノリティのカップルなどいわゆる事実婚の人たちやその子どもを家族として公に認める「ファミリーシップ宣誓制度」が愛知県で4月から導入されます。(子どもまでは都道府県で初)

これにより県営住宅への入居や県立病院での手術の同意など、法的な家族と同様の行政サービスが受けられます。多様性を認め合う心の通った制度です。

県下54市町村中、同様の制度を導入しているのは28市町村。残念ながら海部津島地域の市町村は未導入。県が呼び水となり導入が加速する...かも。

### 令和6年度 当初予算の概要 ~限られた予算が有効活用されるかチェックしていきます！~

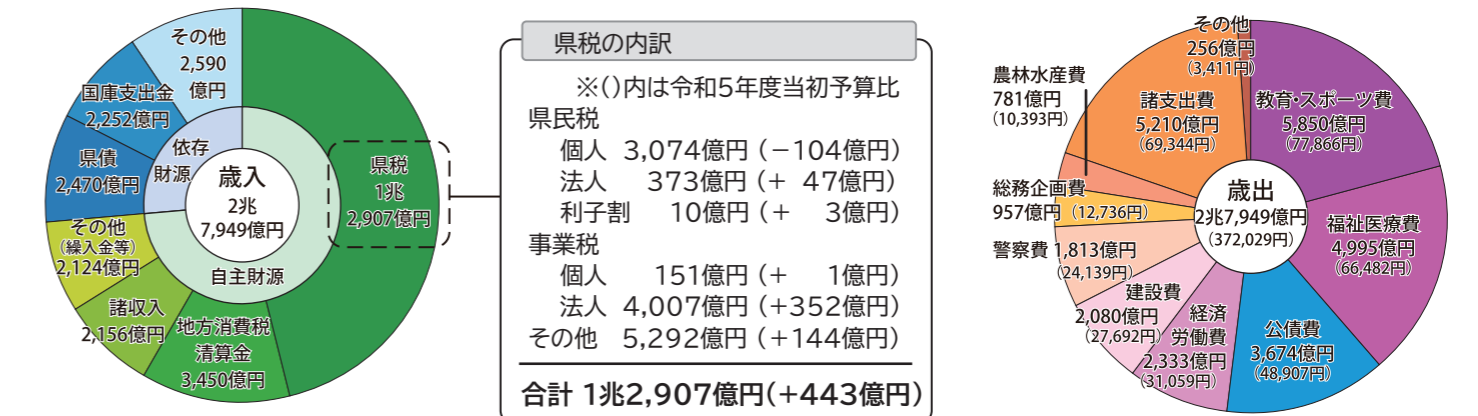
一般会計当初予算総額 2兆 7,949億円余 (他 特別会計:1兆3,250億円余 企業会計:2,227億円余)

県税収入は、好調な企業業績を反映した法人二税(法人県民税・法人事業税)の増収を見込むが、人件費や扶助費などの歳出増加に伴う収支不足が見込まれる。単年度の歳入だけでは歳出を賅うことができず、減債基金と財政調整基金合わせて1,289億円の基金取り崩しにより収支不足を解消、厳しい財政状況が続いている。

歳入 •好調な企業業績を反映し、県税収入440億円増  
•海外景気の下振れ、物価上昇等が懸念材料  
•能登半島地震の経済影響にも留意が必要

歳出 •給与改定・定年年齢引上げによる人件費が増加  
•医療・介護・子育て関連の予算が大きく増加  
•「人づくり」と「大型プロジェクト」を着実に推進

注: ()内は、県民一人当たり換算した歳出金額



福祉医療 安心できる医療体制、保育・介護現場の人材確保  
•新型コロナウイルス罹患後の後遺症実態調査を実施  
•新興感染症への構えとして、検査・医療体制を強化  
•4,5歳児の職員配置基準の改善、新たに保育士キャリアアドバイザーを配置し潜在保育士の就職支援を強化  
•「地域医療総合確保基金」を活用した介護人材確保、事業者支援のためのワンストップ型支援センターを設置

教育スポーツ 学びの保障 / 安全な教育環境の整備を推進  
•全県立高校への体育館と武道場に空調設備を設置(今後3年間で整備、私学は補助対象メニューに追加)  
•フレキシブルハイスクールと夜間中学校の施設整備  
•校内フリースクールの設置を中学校5校へ拡充  
•外国人児童生徒に対応する小中学校の教員配置を拡充  
•総合型地域スポーツクラブの運営や指導者確保を支援

県民環境 女性の活躍促進 / 地球温暖化対策の推進  
•中小企業における女性の採用に特化した取組ガイド作成  
•「あいち子育て女性再就職サポートセンター」を充実  
•省エネ再エネの建物や設備、自動車への補助制度を拡充  
•サーキュラーエコノミーへの転換を図る取り組みを推進

建設防災 能登半島地震を教訓に、さらなる安心安全確保  
•南海トラフ地震の新たな被害想定を踏まえた対策見直し  
•災害時に機能する次世代高度通信情報ネットワーク整備  
•ゼロメートル地帯の広域防災活動拠点の整備促進  
•住宅や建築物の耐震診断、改修等への費用補助を継続

経済労働 中小企業支援の拡充 / 次世代産業の育成  
•従業員の奨学金返還を支援する中小企業等に補助制度  
•男性育休取得を促進する中小企業等に奨励金を支給  
•「STATION Ai」を中心とした県独自のエコシステム形成

警察交通 県民の利便性向上 / 交通安全施策の推進  
•警察手数料収納方法にキャッシュレス決済を導入  
•運転免許更新予約制度を導入(3月19日~Webと電話)  
•信号灯のLED化、道路標示と標識の着実な整備

農林水産 農林水産物の需要拡大 / 県産木材の利用促進  
•名古屋コーチン等の県産農林水産物のブランド力の強化  
•スマート農業の導入による農業生産力の向上  
•県産木材利用のための人材育成と新規利用拡大の取組

元気観光 人口減少・少子化対策 / 県内周遊観光の促進  
•県結婚支援センターを開設(AIマッチングを実施)  
•元気な愛知の市町村づくり補助金の拡充(人口問題対策)  
•ジブリパークと連携した県内周遊観光の促進